

議 事 録

会議名	平成 27 年度 第 2 回かほく市国民健康保険運営協議会		
日 時	平成 28 年 2 月 4 日 (木) 19 : 00 ~ 19 : 55	場 所	かほく市役所 本庁舎 304 会議室
資 料	平成 27 年度第 2 回かほく市国民健康保険運営協議会資料		
出席者	会 長 山本 茂正 委員 荒木 信子 委員 赤井 孝 委員 油野そとえ 委員 紺谷 一浩 委員 高田 充彦 委員 中井美智子	市民部長 森田 善明 〔保険医療課〕 課 長 能任有為子 課長補佐 新田 陽介 係 長 能村 忠由 主 事 瀬戸由紀子	欠席者 委 員 飯利 邦洋 委 員 津田 美幸
議 事 の 経 過			
事務局	1. 開会 (会議冒頭司会) 飯利委員、津田委員が欠席ですが、委員の過半数以上の出席がありますので、運営協議会規則第 3 条第 5 項の規定により、会議が成立することを報告します。		
事務局	2. 開会あいさつ 日頃、医療保険行政に何かとお力添えいただき、まずお礼を言わせていただきます。 今日立春で、寒い日になりました。インフルエンザの注意報が発令され、これから非常に蔓延していくと新聞に載っていましたが、委員の皆様方には十分身体に気をつけていただきたいと思ひます。 本日の会議は、国民健康保険に係る平成 27 年、28 年の予算の状況等です。一昨年この会議の場で、医療費が削減され、平成 25 年、26 年と県内では、医療費の少ない順で上位になり、非常にいい傾向にきたと話しましたが、平成 27 年度の傾向を見ると、療養費が非常に大幅に伸びているという状況です。循環器系の疾患が多く、高額にかかわる医療費にかかる方がおいでるところで、27 年度は非常に医療費が伸びています。我々は、健康づくりと医療費の削減、これが大命題です。このあたりをしっかりとやっていかなければなりません。データヘルス計画、いわゆる医療費のレセプトを請求するシステムが今年から立ち上がっています。そのシステムが立ち上がることで、かほく市はこういう病気の方々がおいでという他市町との比較ができます。全国的には、脳疾患、心疾患等が多く、これはかほく市でも例外ではありません。当面においては、高血圧とかメタボ、糖尿病、このあたりをしっかりと対策する必要があります。医療費をいかに削減するかという戦略を練り、かほく市の国保財政の安定化に向けて、しっかりと取り組んでいきたいと思ひます。 本日の会議、委員の皆様方には忌憚のないご意見、またご指導賜りたい。よろしくお願ひいたします。		
会長	3. 会長あいさつ 皆さん、こんばんは。お昼の仕事の後の、また寒い中にお集まりをいただきまして、本当にありがとうございます。第 2 回の国民健康保険運営協議会、皆様方の活発なるご意見をお願いしたい。		
会長	4. 議事録署名委員の選出 荒木委員、中井委員に願ひする。 〔全員拍手で承認〕		
事務局	5. 議題 1. 平成 28 年度かほく市国民健康保険特別会計予算 (案) について P1~4 説明		
委員	歳入の療養給付費等交付金が△35.6%と大幅に減っているのは、退職被保険者が減少しているからだと思ひますが、人数は何人減っているか？		
事務局	対前年比で約 90 人減る見込みです。前年 390 人程度で見込んでいたものを 300 人程度としています。		

議 事 の 経 過

委員 減っている原因はなにか？

事務局 新規加入がないため減少する一方です。近年の推移を元に割り出した人数が 300 人程度となります。

事務局 退職者医療制度は、平成 30 年度に廃止となります。

委員 平成 28 年度新規事業の特定健診受診向上対策でどのくらい受診者が増えるか？

事務局 今年度新規で追加検診をしましたが、その時の実績は 1 日で 200 人程度受診がありました。

事務局 特定健診の期間である 10 月 31 日までに受けなかった約 3,000 人に対して、11 月 19 日の朝、日中、夜の 3 回、もう一度健診を行うので受診してくださいと勧奨のハガキを送りました。200 人程度の受診がありました。そのうち夜間受診者が 43 人、初めて受けた方が 70 人ほどで、メタボが 53 人も見つかりました。

委員 シークレット健診のことか？

事務局 そうです。いい結果が得られましたので、来年度は拡充策として、春・秋の健診時に夜 1 回受付の日を設けます。

委員 夜の健診は、他の市町もやっているのか？

事務局 行っていません。なお、夜の健診は基本健診のみで、がん検診などはできません。

委員 健診バスも置いてあるのかと思った。

事務局 ありません。

委員 高額な医療の発生による国保財政の負担緩和を図るため市町国保からの拠出金を財源とする交付金である共同事業交付金が 12.1%増えているが、高額な医療を要する被保険者が増えているということか？

事務局 そうです。共同事業交付金も共同事業拠出金も同じですが、過去 3 年の平均で計算されるので、平成 26 年度は下がっていますが、平成 24、25 年度が高かったので増えています。

平成 28 年度の予算については、2 月 19 日から始まる議会定例会の時に、上程させていただくことをお知らせします。

また、先ほどの部長のあいさつにもありましたが、今年度は県内全体で医療費が高く、特にかほく市は、昨年と比較して 1 億 7,000～8,000 万円も医療費が上がっています。今日、県の課長会議に行ってきましたが、県全体でも 10%くらい伸びています。超高額として C 型肝炎が、昨年度と比べて 3.6 倍伸びていると聞きました。かほく市でも C 型肝炎の方が 1 人いますが、1 錠で 8 万円の薬を飲んでいかなければならないとのことで、医療費はまた上がってしまうと思いますが、少しずつでも医療費削減に力を入れたい。医療費が 1 億 7,000～8,000 万円上がったことによって、今年度の財政が厳しい。来年度の予算で、基金から繰入金として 7,300 万円入れますが、基金が底を突く状況になってきます。基金がなくなれば、平成 25 年度までのように基準外繰入が必要になってくるかもしれませんので、部長と相談しながら対応していきたいと思えます。

事務局 2. 平成 27 年度かほく市国民健康保険の保健事業について
P5～6 説明

委員 健診の結果は分析したのか？

事務局 平成 24～26 年度の入院で一番かかったのはどことか、そういう分析結果表が出ていますし、県内全体の分析も国保連で作って各市町村の保健師に渡してあります。例えば、平成 26 年度のかほく市の入院の 1 位は、総合失調症で 11.8%、約 1 億 3,800 万円かかっています。医療費がかかっている 2 位は、その他の悪性新生物、3 位がその他の心疾患、4 位が気分障害、5 位が虚血性心疾患というふうにしてデータは分析されています。

事務局 かほく市の保健師でも分析していますが、今年や昨年に限らず、かほく市の人には血糖、血圧、脂質の 3 つのうち、どれかひっかかる人が多い。また、3 つとも数値が悪い人が他市町に比

議 事 の 経 過

べて多いので、それに対してどういう指導をしていけばいいかと話をしています。かほく市の特徴は、入院している人数は少ないが、入院費用が高い。一人の人の重症化を抑えれば、その費用がぐっと下がる率が高いので、それに対しても、何とか指導していければと話しています。

委員 地域毎に特定健診の分析ができていますか？

事務局 できています。どこの地域が高いという分析はできますが、保健師が作成していますので、まだ資料は手元にきていません。

委員 例えば、白尾地区でこういう疾患が多いとか、特定健診でこういう傾向が多いとわかれば、その地域に行って健康講座をやっていただくことはできるか？

事務局 はい。できます。

事務局 3. 平成 28 年度かほく市国民健康保険制度の改正について
P7 説明

会長 質問がないようだが、その他、全般にわたっての質問はないか？

委員 医療費が高かったのは、C型肝炎が一番の原因か？別の病気か？

事務局 平成 27 年度は、心臓のカテーテルの治療の方が増えています。

委員 石川県全体で増えているのか？

事務局 かほく市で増えています。

委員 C型肝炎ではないのか？

事務局 はい、C型肝炎ではありません。県全体では、C型肝炎の医療費が 3.6 倍に上がっていますが、かほく市では、1 名把握しています。

委員 がんの治療費は上がっているか？

事務局 上がっていると思いますが、まだ金額は出していません。

委員 それは、データヘルス計画とは別なのか？

事務局 データベースで見ることができます。

委員 がんの治療費は増えているのでしょうか。皆さん、がん保険に入って先進医療を選ばれている。

事務局 毎月、高額医療費を見てみると、最近 65 歳から 69 歳よりも 70 歳以上のがんの高額のお金がすごくかかっています。

委員 高額医療費は、保険外の治療しても支払われるのか？

事務局 保険外は違います。

委員 近所の 70 歳以上の人で、かつて健診を受けていなかったのではないかという方が、自分で気がついて病院へ行ったってのを何人か聞いた。そこまでいくと難しいかなと思う。

事務局 この前、一人で 800 万くらいかかった方など、出てきています。

委員 先進医療じゃなくても 800 万もかかるのか？

事務局 心臓の治療だとかかります。

委員 知人で、健診を受けて、手術することになったのだが、今まで保険料が高いと思っていたが、すごくありがたいと喜んでいた人が 2 人いる。

議 事 の 経 過

事務局 限度額認定証を持っていくと、少ない金額しか払ってこなくていいので、高額なお金を持っていかなくても治療を受けられます。

委員 大抵の方は、ありがたいと言う。本当に助かったと。

事務局 ここには書いてありませんが、来年度から大病院に行く時は、紹介状がなかったら、5千円か1万円かその辺はまだ決定していませんが、お金がかかるようになります。

委員 そうなると病院の受診は控えることにはならないか？

事務局 国保とは別件ですが、今年1月から子ども医療費として18歳まで現物給付ということで、窓口で自己負担分を払わなくてよくなっています。現物給付は県内で動き始めていて、これで、相当無理がきます。今までは償還払いで助成していたものが、窓口での支払いが0円となるということで、そのことが医療にどのように反映していくのか全く未知数。今までは、償還払いだったので申請が面倒で500円や1,000円くらいいらないと領収書を捨てる方も中にはいたと思いますが、それがどのように伸びてくるかわかりません。

事務局 子ども医療費が現物給付になって1ヶ月たちましたが、子どもの受診は増えていますか？

委員 子どもはインフルエンザの患者は多いが、受診は楽になったと思う。

事務局 子ども医療費も保険医療課が担当しています。

委員 子ども医療費は、国保や組合健保など関係ないのか？

事務局 関係はありません。なお、対象となるのは自己負担分だけです。自己負担分が無料になったので、今まで仕事を休んで病院へ連れていったのが、お金を払わなくていいので、夜間の外来でもいいという声が聞こえています。

委員 病院の窓口は煩雑になりますね。

委員 請求の時ですね。少しだけ。

委員 これから、65歳～75歳の方はすごく増える。国保の負担が増えることは目に見える。

事務局 健康福祉課もちろんですが、長寿介護課もシニアの世代が少しでも健康でいてほしいので、シニア生き生き教室など、来年度拡充して健康づくりに力を入れていくこととしています。委員の皆様も是非ご参加ください。

事務局 2025年問題のために、医療費が膨大になります。団塊の世代が75歳を迎えるこの時の医療費の膨大さをどうやって防ぐか。在宅医療とか介護も含めてですが、急性期から回復期と分けて、ベッド数も減らしながら、在宅での医療強化は、かほく市も決して例外ではありません。65歳～75歳のこのあたりは、これから大変な時代になってきます。在宅で介護をする時は必ず医療が付きまってくるので、介護と医療の連携軸を構築していきます。療養給付費の削減を十分検討していかなければなりません。

事務局 皆さんからいただいた貴重なご意見を来年度からの国民健康保険の運営、保健事業に生かしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。皆さんの任期は2年であり、3月31日で終了しますが、被保険者代表の方には、引き続きお願いしたいと思いますので、募集の方よろしくようお願いいたします。公益代表の方と医師会代表の方は、事務局の方にまた案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

6. 閉会あいさつ

委員 お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。